

## 三重県内経済情勢（平成 22 年 10 月の指標から）

県内経済は、足踏み状態となっている（生産は弱含んでいる。個人消費は持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱さがみられる。雇用情勢は依然として厳しい状況の中、改善の動きが弱まっている）。

### 1. 概況

#### （生産）

鉱工業生産指数は 2 か月連続で低下した。【図 1】

#### （消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を 27 か月連続で下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 5 か月ぶりに前年同月比減となり、家電販売額（中部 8 県）は 5 か月連続で前年同月比増となった。

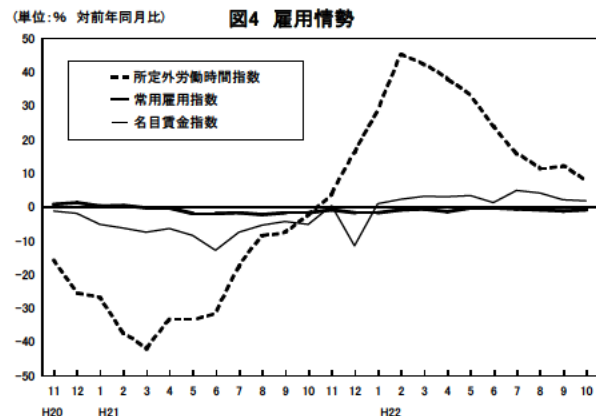
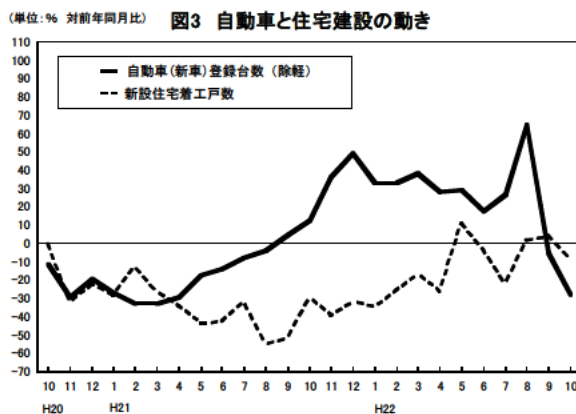
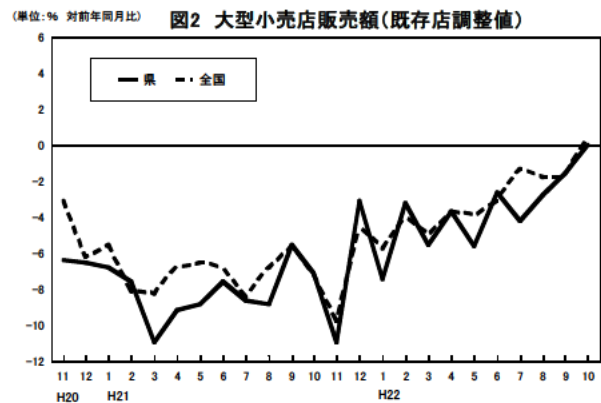
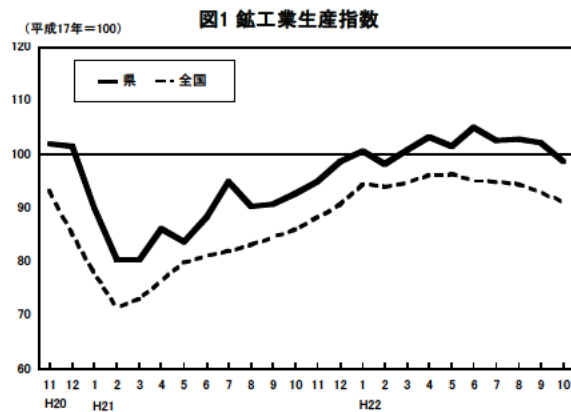
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 2 か月連続で前年同月比減となり【図 3】、軽自動車販売台数は 11 か月ぶりに前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は 3 か月ぶりに前年同月比減となった。【図 3】

#### （雇用）

有効求人倍率は 0.60 倍となり、前月を 0.02 ポイント下回った。

所定外労働時間指数は 12 か月連続で前年同月比増、常用雇用指数は 20 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 10 か月連続で前年同月比増となった。【図 4】



## 2. 主要経済指標の動き

### (1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は 98.6 となり、前月比 3.5%減と 2 か月連続で低下した。
- ・ 県内主要 3 業種では、電気機械工業（旧分類）（128.9）が前月比 0.2%増と 2 か月連続で上昇し、化学工業（95.9）も前月比 10.1%増と 3 か月連続で上昇したものの、輸送機械工業（74.1）は前月比 12.0%減と 2 か月連続で低下した。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H17=100）は 97.6 で、前月比 2.2%増と 2 か月連続で上昇した。

（※電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成 14 年 3 月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	7月	8月	9月	10月
鉱工業生産指数	-2.4	0.2	-0.5	-3.5
（電気機械工業：旧分類）	-9.0	-1.5	0.5	0.2
（輸送機械工業）	3.8	3.8	-4.4	-12.0
（化学工業）	-0.4	1.1	1.9	10.1
鉱工業生産指数（全国）	-0.2	-0.5	-1.6	-2.0
鉱工業生産者製品在庫指数	-3.8	-3.4	1.0	2.2

### (2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比 0.0%減と 27 か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 5 か月ぶりに前年同月比減となり、家電販売額（中部 8 県）は 5 か月連続で前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比 27.9%減となり 2 か月連続で減少し、軽自動車販売台数も前年同月比 18.7%減となり 11 か月ぶりに減少した。全自動車では前年同月比 24.7%減と 2 か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	7月	8月	9月	10月
大型小売店販売額（県内既存店）	-4.2	-2.8	-1.6	-0.0
〃（全国既存店）	-1.3	-1.8	-1.7	0.4
コンビニエンスストア販売額（5 県全店）	3.7	3.8	19.9	-4.5
家電販売額（8 県全店）	13.6	18.3	20.8	57.1
自動車（新車）登録台数（県内）	26.9	64.5	-5.7	-27.9
〃（全国）	15.0	46.7	-4.1	-26.7
軽自動車（新車）販売台数（県内）	8.4	24.5	5.5	-18.7
〃（全国）	8.6	21.7	4.6	-16.2
自動車・軽自動車 合計（県内）	19.9	48.1	-1.7	-24.7
〃（全国）	12.9	37.7	-1.2	-23.2

### (3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は 933 戸となり、前年同月比 8.9%減と 3 か月ぶりに減少した。

（前年同月比：％）	7月	8月	9月	10月
新設住宅着工戸数	-22.5	1.8	4.4	-8.9
（参考）（持家）	2.2	7.5	17.5	8.7
（貸家）	-53.5	-12.0	-36.9	-41.3
（分譲住宅）	-16.2	-7.5	122.0	67.6

#### (4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は113億8千6百万円となり、前年同月比7.2%減と2か月ぶりに減少した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は31億6百万円となり前年同月比18.5%増と4か月ぶりに増加し、「地方の機関」からの受注工事額は82億7千9百万円となり前年同月比14.2%減と5か月ぶりに減少した。

（前年同月比：％）	7月	8月	9月	10月
受注工事総数（県内）	31.7	-6.3	14.4	-7.2
国の機関	-19.6	-71.5	-44.8	18.5
地方の機関	67.2	17.8	81.4	-14.2
受注工事総数（全国）	-15.0	-1.9	-14.7	-22.9

#### (5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.60倍となり、前月を0.02ポイント下回った。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比7.6%増となり、12か月連続で上昇した。
- ・常用雇用指数は前年同月比0.9%減となり、20か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は前年同月比1.8%増となり、10か月連続で上昇した。
- ・完全失業率（全国値）は5.1%で、前月に比べ0.1ポイント上昇した。

（※前年同月比：％）	7月	8月	9月	10月
有効求人倍率（三重県、倍）	0.59	0.60	0.62	0.60
"（全国、倍）	0.53	0.54	0.55	0.56
所定外労働時間指数※	15.5	11.4	12.0	7.6
常用雇用指数※	-0.6	-0.9	-1.2	-0.9
名目賃金指数※	4.9	4.1	2.2	1.8
完全失業率（全国）	5.2	5.1	5.0	5.1
（参考）完全失業率（三重県：推計値）	4.2（7～9月期）			—

#### (6) 企業倒産

- ・企業倒産は10件発生した。負債総額は27億4千万円（前年同月比41.4%増）となり、2か月ぶりに前年同月比増となった。

（※％：前年同月比）	7月	8月	9月	10月
企業倒産件数（件）	15	8	16	10
負債総額（％）※	409.1	0.7	-6.5	41.4

#### (7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は101.5で、前月比は0.4%上昇、前年同月比では0.5%上昇した。

（前月比、※前年同月比：％）	7月	8月	9月	10月
消費者物価指数（4市平均）	-0.6	0.5	0.1	0.4
" ※	-0.4	-0.5	-0.5	0.5
"（全国）	-0.5	0.3	0.3	0.4

### 3. 景気動向指数 (CI 指数)

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 63.1 となり、前月と比較して 4.7 ポイント下降した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。ただし、一致指数の 3 か月後方移動平均の前月差が 2 か月連続でマイナスとなるなど、足踏みの動きもみられる。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 3 か月連続で上回り、57.1%となった。

(※前月差：ポイント)	7月	8月	9月	10月
CI一致指数 ※	-1.9	0.9	0.5	-4.7
3か月後方移動平均※	-0.5	0.6	-0.2	-1.1
7か月後方移動平均※	1.1	0.3	0.2	-0.2
DI一致指数 (%)	28.6	71.4	57.1	57.1

- 先行指数（10 月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 91.7 となり、前月と比較して 5.8 ポイント下降した。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 2 か月ぶりに上回り、83.3%となった。

(※前月差：ポイント)	7月	8月	9月	10月
CI先行指数 ※	5.4	14.8	-6.8	-5.8
3か月後方移動平均※	2.5	6.2	4.5	0.8
7か月後方移動平均※	-0.8	2.6	2.1	0.6
DI先行指数 (%)	66.7	83.3	50.0	83.3

